

第 27 号

発行  
富士市消防団

富士市永田町1丁目 100番地  
電話 (0545) 55-2851  
(0545) 55-2852  
FAX (0545) 53-4633



# 消防団だより

## 榎屋消防団長就任



### 消防団長就任の挨拶

団長 榎屋 根  
神戸 在住

平成二十八年四月一日付で第二十代富士市消防団長に就任いたしました。団長就任にあたり御挨拶を申し上げます。

消防団員の皆様方には、常日頃より消防行政に御理解いただき、日夜を問わず献身的に御協力をいただきまして心から厚くお礼を申し上げます。

また、消防活動を行っていく中で、市民の皆様へ深い御理解と御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます次第であります。

平成二十八年度を振り返りますと、熊本地震や糸魚川市大規模火災など、予想し難い災害が発生しており、甚大な被害が報告されています。

我々消防団は、地域密着性・要員動員力・即時対応力及び一致団結力を発揮し、消防防災力を今以上に強化する必要があります。そのため、更なる消防署隊との連携した訓練、災害活動能力の向上に努め、地域と協

力体制を強固にし、総合的な防災力の強化に努めてまいります。

しかしながら、全国的に消防団員が減少しており、富士市消防団も定員を大きく下回っているのが現状です。

地域の防災力向上には、若い力が必要です。そのため、各分団や団員による町内会・友人等への勧誘をはじめ、女性団員の確保・地方公務員の勧誘など様々な働きかけを行っておりますが、新入団員の確保は年々厳しさを増しています。

若い世代の意識の持ち方や経済情勢の大きな変化が一因と考えられていますが、消防団活動に参加しやすい環境を自分たちで考え作っていかねばならないと思っております。今後の消防団のために、ぜひ多くの皆様に消防活動に対する理解を深めていただき、消防団への加入をお願いします。

結びにあたり、われわれ消防団は、自らの地域は自ら守るといふ郷土愛護の精神と、地域住民の皆様への生命、身体及び財産を災害から守るといふ、崇高な使命をもって活動しています。今後も団員一丸となり、市民の皆様から信頼され、頼りにされる消防団となるべく、日々精進し、災害のない明るい豊かな地域づくりに貢献して参ります。



消防長賞「練習でも必死」上村 一義



議長賞「勇者の帰還」鈴木 篤

## 平成29年 富士市消防出初式 写真コンテスト 優秀作品



防火協会賞「命中！」望月 喜久夫



市長賞「救助技術の継承」中西 努



消防団賞「力強い行進」藤田 理行

### まつりを支える道具たち

第3分団 団員 大石 剛士  
千代田町 在住

市制五十周年記念ということもあり、今年の消防まつりは「祝五十」の看板を新たに作り、お祭りムードを盛り上げることにしました。私たちの分団では例年金魚すくいを出店(でみせ)にしており、活きいい金魚の絵が目印の看板となっていました。ここ数年の悪天候により、だいぶ傷みも進んでいました。これを機に、目立つオレンジ色を基調とした横断幕の看板を新調したため、古い看板を整理していると、フランクフルトや焼き芋といった、過去の出店を宣伝した役者たちが次々と棚の奥から現れてきました。この古い看板にもうひと仕事してもらうため、五十周年の装飾を加えていくことにしました。表面は新たな様

### 消防まつり

第17分団 団員 前川 淳  
鮫島 在住

十一月十三日、富士市消防まつりが、秋季火災予防運動の一環として開催されました。当日は穏やかな快晴となり、たくさんの方が来場してくれました。消防まつりには、消防音楽隊やラッパ隊の素晴らしい演奏、カラーガード隊の華やかな演技、園児たちによる可愛らしい踊り、投げ餅など様々な催しがありますが、消防まつりといえば、各分団が趣向を凝らして出店する模擬店だと思います。私たちの分団は、「焼き鳥、ラムネ、お茶、金山寺みそ」を販売しました。

# 第30回 Fire Festivals 消防まつり Festival



相となりましたが、ベースには往年の看板を使い、まるで私たち消防団のように歴史を知る熟練が新入団員を支えるような構造に仕上げる事ができました。金魚すくいと併設で、モツ煮込みも数年前より販売し、年々量を増やしてきました。ふと誰かが、詰所の倉庫にある大きな鍋の存在に気が付きました。この鍋は、三分団が長



年消防まつりの出店でカレーを調理するために使った鍋で、特注手配した代物です。四十リットルの水に二十キロのモツを入れても全く問題ありません。さらに団員の奥様方による協力もあり、手間暇のかかる仕込み作業も手際よく進めることができました。男性だけでは雑になりがちな場面で、繊細なサポートを頂けたこともあり、モツ煮込みの仕上がりは、前日準備に参加した団員が全員一致で満足のいくものになりました。

結びに、消防まつりの歴史を分団の歴史と共に感じることが出来る道具たちへ、「また来年、そしてこれからも末永く活躍してくれよな」と期待したい。



焼き鳥は、焦がさずにしつかり焼く事が重要です。絶妙な火加減と熟練の焼き手による手捌きを駆使して焼いていき、多くのお客様に来店していただき、喜んでいただけることができました。絶えず行列ができ、時には暫くお待ちいただくお客様もいらっ

この消防まつりを通じて、少しでも地域の皆様に消防団活動を知っていただきたいと思えます。今後も地域の皆様の役に立てるように、また、火災の発生が少しでも減るように消防団活動を頑張っていきたいと思えます。



第11分団 草もち

## 消防まつり出店コンクール 優秀賞

- 第11分団 草もち
- 第21分団 カレーライス、落書きせんべい
- 第12分団 焼そば、フランクフルト
- 第24分団 射的
- L P ガス協会 風船販売



第24分団 射的



第12分団 焼そば、フランクフルト



第21分団 カレーライス、落書きせんべい

# 消防団員ソフトボール大会

**優勝**  
 第四分団  
 第十五分団

**準優勝**  
 第八分団  
 第二十五分団

**二連覇達成**  
 第15分団 班長 遠藤 洋幸  
 京王紙研工業株式会社 勤務



今年も富士市消防団員ソフトボール大会の時期を迎え、我が十五分団は、前年度優勝し二連覇のかかった大会となりました。方面隊の練習では、他の分団に完敗するような結果となり、課題が多く、大会が心配でしたが、いざ当日になると一回戦はス

ターティングメンバーの打線が爆発し、大量得点で勝利しました。一回戦を終えてから二時間程度あいて準々決勝。休憩明けで体が動かず、取り戻すのに時間がかかりましたが、結果、準決勝へ駒を進めることができました。準決勝では接戦が続き、暑さと疲れとでミス連発。しかし、ここは十五分団の粘り強さ。一点差で勝利することができました。

決勝戦、後の試合が無いのか？力を温存していたのか？打線が爆発し、大量得点で見事に二連覇を達成することができました。今回キャプテンを務めて、采配が不十分でメンバーを疲れさせてしまうなど反省点が多く残りました。しかし、団員一人一人の気持が一つになった結果、優勝する事ができたのでよかったです。

二連覇を達成したことで来年選出されるキャプテンにはプレッシャーがさらにかかるとは思いますが、来年もがんばって優勝したいと思っています。

# 家族に感謝

**「我が家と消防車」**  
 第10分団 団員家族 鈴木 安子  
 鈴木 西町 在住



冬の静まり返った住宅街に「カーン、カーン」と響き渡る音がすると、子供たちが「チリンチリン来たよ。」と大慌てで靴を履き、玄関先まで飛び出していきます。間もなくして赤い消防車が目の前を通過するのを、手を振って喜ぶ姿は、我が家の見慣れた光景です。

消防団には義母の知人が入団していて、お誘いのお言葉を頂き、長女を出産したこともあり、地元地域とより良く付き合っていたらと思いい、主人も賛成し入団しました。主人が消防団に入団してからは、普段な

**父は消防団員**  
 第11分団 団員家族 加藤 柚羽  
 吉原北中学校二年

私が物心つく頃、父はすでに消防団員でした。紺色の活動服を着て出て行く後ろ姿は、私にとってとても誇りに思います。けど、小さな頃はそうではありませんでした。父が活動服を着るたびに「行かないで」と泣きながら言うこともありました。そんな私の心を少しずつ和らげてくれたのは、消防団のおじさん達とのコ

# 防火ポスター優秀受賞者



小学生



中学生

かなか間近でふれあうことのない消防車も、今はとても身近な存在となっています。十分団の方たちも、そんな我が子の為にと巡回時には車内から手を振ってくれたり、消防車を止めて中を見せて頂いたり本当に感謝の気持ちでいっぱいです。消防団に主人が入団して三年が経ちまし

た。入団してからのこの三年間は私たちにあって、子供の成長と共にあった三年間だったと思います。主人には本当に感謝しています。

また今年も夜警の季節がやってきます。仕事の後で大変だと思いますが、「お父さんががんばって。」いってらっしゃい。



ミニケーションでした。

十一分団は年間を通して家族参加の出来る行事があります。春には消防まつりに出店する草もちのよもぎ採りから始まり、地引き網やバーベキュー、そして消防まつりの準備と手伝い。それに家族忘年会や家族旅行などたくさん行事に参加させてもらっている

中で消防団のおじさん達や家族の方々とおれあい、楽しみ、かわいがって頂いた事で自分の中で消防団活動に参加する父に対しての理解を深めていったような気がします。

私も父や消防団のおじさん達に見習い、学校行事ではありますが、するが荘ボランティアや地域の行事などに積極的に参加しています。これからは地域に貢献できる大人になれるように一生けん命頑張ります。何に対しても全力で人のために一つでも何かプラスになる事ができるようにしたいと思っています。

最後になりますが、「お父さん、これからも地域の安全のためにがんばってね！」

# 新入団員教育

## 五十歳で新入団員

第22分団 団員 岡村 義久  
厚原北区 在住



人生には三つの坂道があるといえます。「上り坂」、「下り坂」、そして「まさか」。その、まさかを今感じました。まさか自分が五十歳で消防団に入団するとは、夢にも思っていませんでした。きっかけは、十二月の地域防災訓練に訓練出動した二十二分団との出会いと地域の長老の勧めでした。消防団といえば、東日本大震災では多く

の消防団員が犠牲になられたことは皆様の知るところです。当時、職務に対する責任感ゆえに「一人でも多くの方を助けたい」と危険を顧みず現場に向かわれ、犠牲になられた方々の崇高な思いに涙させて頂きました。

その後、そんな消防団員として地域の役に立つ活動もする必要があるのではないかと、真剣に考えた時期もありましたが、年齢も四十歳をこえていたこともあり、今更激しい消防団活動に、ついていくことはできないだろうと勝手に思い込んでいました。しかしながら、地元の二十二分団では、同級生のAさんが長らく団員として活躍し、頑張っている姿もあり、また、消防団員不足という状況も耳にしていたことも心の後押しとなりました。

また、そのころ、何か世のため人のために行動していかないと自分が墮落していく、劣化していくといった感覚もあり、上下関係のしっかりした規律ある組織に身を置くことも、己を鍛えるために必要ではないかという思いも重なり、入団を決断いたしました。今となってはよききっかけだったと思います。

五月にはさっそく新入団員教育がありました。この研修に参加しないと消防団員として認められないということでしたので、なにはさておき最優先事項として参加しました。研修は、座学はもちろん行進や規律訓練などの実地訓練がありました。天気も

## 新入団員教育を終えて

第18分団 団員 山田 広樹  
中丸 在住

地域防災という言葉を目にするのが多くなりました。

消防団と聞くと、どうしても火災の現場を連想しがちですが、東日本大震災や熊本震災等、大規模災害時の消防団の役割は非常に大きいと感じます。また、震災だけではなく、水害等の災害



にも意識や技術における備えが必要であると感じ、消防団に入団することに決めました。



良く暑さに耐えながらの訓練は、年齢的に大変堪えました。しかしながら、同級生のMさんも新入団員教育に参加していたので励ましあいながら頑張りました。

消防団は、外から見ていただけではわからない大変な部分がたくさんあることを知りました。日頃の訓練がいかに大切であるかを身をもって実感できるようになりました。今後は、実感が終わらせることなく、緊急時に即応できる頼りになる団員となるように日頃の訓練、団活動に勤めたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

新入団員教育では、座学と屋外での基本的な訓練でありましたが、覚えることは多く、防災に対する意識だけではなく、実際に行動し、備えておくことの重要性を感じました。

これから様々な訓練を受けていくことになりませんが、一つ一つをしっかりと身につけ、さらには、非常時に対する備えの必要性を啓発していくことも重要であると感じています。自分が生まれた地域の防災の要として、消防団の活動を大切にしていきたいと感じています。

# 出初式

## 出初式

第27分団 団員 布施 啓太  
中之郷 在住



昨年の暮れに、いつも仲良くさせてもらっている地元の先輩と家飲みをやっていた時のことです。会話もお酒も進み、いつも通り楽しい雰囲気で行っていたところ、先輩から地域の消防団の話をして頂きました。以前から、団員になってみたいかと誘われていたのですが、なかなか自分の心で決め兼ねていました。ところがその日のお

酒は、何か今までと違い自分もやってみよう、地域のために貢献しよう、と、素直な気持ちになりました。団の決意をいたしました。そして一月八日富士市役所にて行



富士市消防団  
あなたの「力」を求めています

**団員募集中!**

お問い合わせ 富士市消防本部  
☎ 55-2852

われた出初式が初出勤となりました。まだ制服制帽はありませんでしたが、見学と言う形で参加させてもらいました。当日は、二十一年に一度と言われる程厳しい寒さの中で、消防操法や救助の模範演技、全分団による一斉放水が行われました。空に向かつての一斉放水は見事で、凄く印象に残り、思わず携帯に収めてしまいました。待ち受け画面にしています。

これから覚えることが沢山あると思いますが、先輩方の指導の下、一歩一歩と積み上げていきたいと思います。一月十日より冬季特別警備として夜警を行ってまいります。初心を忘れず日々頑張っていきたいと思います。



# 指導員

## 礼式指導員と なった今の自分

第25分団 班長 小林 直人  
広見九丁目 在住



## 指導員になって

第8分団 班長 矢崎 達  
有限会社ヤザキ総合エクステリア  
代表取締役

「二番員にーっ！ 倅えっ！」この号令で一  
気に緊張が高まる。大型ポンプ車操法の選  
手として訓練をしていたあの頃が懐かしい  
思い出です。平成二十七年から先輩指導  
員とバトンタッチし、大型ポンプ指導員と  
しての活動が富士支部大会の指導から始ま  
りました。  
自分の中で指導員といえはすごく大きな  
存在で、引き受けたのは良いのですが、上  
手く活動していかれるのか？指導できるの  
か？心配でした。訓練では先輩指導員の指  
導方法や動き方、言葉使いなど勉強の毎日  
であり、また、訓練をしている選手達と選  
手時代の自分を照らし合わせたりして選手

平成二十八年四月から訓練礼式指導員と  
して、また新たな気持ちで頑張らなければ  
ならない自分がいます。

私は、消防団に入団して九年目になり、  
過去に訓練礼式の大会等に何度か出場して  
いますが、指導員としては初めての事なの  
で、色々と覚える事  
があり大変です。自  
分の周りにいる先輩  
方が、色々と指導し  
てくれるのですごく  
感謝しています。自  
分自身もつと色々な  
事を学び、指導員と  
してしっかりと団員  
に教えられるように  
努力してまいります。  
指導員となったか  
らには周りを不安に  
させず、しっかりと  
教える事の出来る指  
導員になりたいと思  
います。



達の気持ちを理解しようとしてみたり…  
消防団に入団した時より緊張しています。  
指導員となると他から見れば新入り指導  
員もベテラン指導員と同じように見られる  
ので、大型ポンプ車操法も一からやり直し  
です。これからは、指導員ならびに消防団  
員として精進し、消防団人生を楽しみなが  
ら活動していきたいと思えます。諸先輩方、  
今後ともご指導を宜しくお願い致します。  
そして今後選手として活躍される方々、頑  
張っていただきたいと思えます。



# 新ポンプ車納車

## 最後の4トン車

第31分団 部長 望月 勉  
北松野 在住



自分は、前ポンプ車に特別な思い入れが  
あります。消防団  
に入団したのは二  
十二年前、そして  
前ポンプ車が納入  
されたのも二十二  
年前、つまり同期  
でした。今回ポン  
プ車の入れ替えの  
話を聞いた時、物  
凄く寂しい気持ち  
になったのを覚え  
ています。  
前ポンプ車との

第三十一分団新ポンプ車納入に当たり、  
関係方々、市民の皆様深く御礼を申し上げ  
ます。

## 新型ポンプ自動車

第2分団 分団長 増田 豊治  
荒田島町 在住

平成二十八年十一月十七日消防防災庁舎  
にて、第二分団と第三十一分団の合同によ  
る新型ポンプ自動車引き渡し式が、関係者  
の見守るなか行われ、団長より各分団長に  
エンジンキーが授与されました。  
引き続き富士市教育プラザに移動し、ポ  
ンプ車の性能及び操作方法の説明を受け、  
放水を行いました。  
十二月四日の防災訓練の日に各町内の訓  
練会場を巡回しポンプ車の披露をいたしま  
した。



思い出は沢山ありますが、その中でも4ト  
ン車最後のポンプ車操法大会の指揮者とし  
て、大会に出場したことが一番の思い出と  
なりました。扱いの悪い4トン車で、出場  
隊員皆よく頑張ってくれました。良い経験  
になったと思います。  
そして様々な火災と共に闘ってきた前ポ  
ンプ車、ありがとう。戦友の引退は寂しい  
けれど、時代の流れと共に、4トン車から  
2トン車、マニュアル車からオートマ車、  
二十二年前のポンプより最新の優れた性能  
を備えたポンプ。扱いやすく、より良いも  
のに変わっていくのは仕方ないのだなと割  
り切る事としました。現在は、三月の新ポ

ンプ車のお披露目に向けてポンプ車操法の  
訓練に励んでおります。  
十一月十七日に納車となった新ポンプ車  
は、随分カワイクなり、オートマだし、し  
ばらくは物足りない感じがするでしょう  
が、装備の面では最新式、小さくなった分  
小回りもきくし、ぶつけることもないで  
しょう。ヘッドライトも驚くほど明るいし、  
LEDの作業灯は夜間でも昼間のよう  
に明るく照らしてくれる。満足のいく装備です。  
これからは新ポンプ車と共に、三十一分  
団一丸となって消防活動に精進していき  
たいと思えます。三十一分団の皆さん、「目  
指せミスター消防！」



この新しいポンプ自動車の配備を契機  
に、更なる研鑽を積み、二分団団員が新た

な気持ちで地域の人の生命財産を守るよう  
努力していきたいと思えます。

# 富士山女子 駅伝警備

## 「富士山女子駅伝」 警備について

第14分団 班長 山本 真希  
伸和製作所 勤務

今年で四回目の開催となる富士山女子駅伝の応援に早朝から多くの方が沿道にかけつけていました。あいにく富士山は雲を被っていましたが、十二月末とは思えない程、暖かい日の光りがあったと思います。

この富士山女子駅伝が初めて実施された平成二十五年に沿道の警備を担当しましたが、今回任された場所は加島町の富士大通りの交差点で、前回とは違い先導車が来るタイミングで右折レーンを塞ぐ作業とコースへの進入を防ぐ作業を担当しました。規制が始まる時間が近づくにつれて、現場はピリピリとした空気に変わっていききました。

当日実施した交通規制は、普段から交通量の多い交差点で、右折禁止にした交差点を無理やり曲がろうとする車を制止するなど、火災現場の交通整理に似た感覚を受けました。コースに直行する道路の信号が赤



信号に固定され、一〇分ほど通行禁止になると、停車中の車に乗っていた女性が子供を抱えて出てきて、一生懸命命を助け送っていました。選手の中には必死の中



表情で前の選手にくらいいついている方もいました。どの選手も顔を見れば苦しいことが一目で分かるそんな感じです。チームメイトが選手の名前を呼びながら「がんばれ！がんばれ！」と声援を送り、選手も唇

## 秋の火災予防運動

### 秋の火災予防運動

団本部警防部員 飯田茂樹  
㈨飯田電設 代表取締役

私たち消防団は、毎年十一月九日から十五日までの一週間、秋の火災予防運動をしています。火災予防運動の一環として、消防署と消防団が連携した消防演習を実施しています。

消防演習は、事前に消防団員が消防署に出向き、演習場所の確認、ポンプ車の配置、ホースの連結本数などを検討し、安全かつ円滑に演習が行われるように準備してから本番を迎えます。

数年前の消防演習では、分団詰所から赤色灯を回し、ポンプ車の屋外後部座席に乗って、現場に向かうという本番さながらの演習をしたことは今でもいい思い出です。火災予防運動期間中は、消防演習のほか、

## 応急手当普及員

### 応急手当普及員について

第7分団 団員 山本 聡  
東滝川町 在住

私は昨年二月に応急手当普及員の講習を受講しました。分団長より応急手当普及員の講習があるということを知っていただき、

を噛み締めて走っているのを間近で見ると目頭が熱くなりました。富士市はスポーツを盛んにすることを目指しているため、来年以降もこの駅伝が続くことを期待しています。



一般住宅を訪問し、住宅用火災警報器の設置調査を行ったり、夜七時から地域を消防車で巡回し、車載マイクで「火の用心」を呼び掛ける広報活動をしています。

私は消防団に入団し三十年になりますが、今まで何度も火災出動し、様々な現場を体験して、火災予防の重要性を痛感しています。このような消防団の地道な活動が、火災を防ぐことにつながると思っていますので、これからも誇りをもって消防団活動をしたいと思っています。

## 夜警

### 夜警について

第6分団 団員 増田 友彦  
神戸 在住

年が明け夜警の時期を迎えました。第六分団は神戸、今宮、一色、荻ノ原地区からなり、それぞれの地区から数名のグループをつくり、夜警を行っています。

私が入団して十年経ちますが、夜警において変わったことは、夜警の期間と当番日の変更の多さです。特に後者は、団員それぞれ様々な職場で勤務しており、仕方のないことですが、私自身も夜警の期間はなるべく対応できるように意識しております。

近年、第六分団の管轄地域では、住宅が多くなり、分団長をはじめ役員、先輩方の情報をもとに巡回経路を決定しています。地区の行事が行われた後の巡回、特にどんど焼きなど火を取り扱う行事の巡回には、



以前職場で私の勤務時間外に作業員が倒れ、周囲にAEDを使える人がおらず対応が遅れたことがあったので、同じような経験をしないようにとは是非受講したいと希望しました。二年前に普通救命講習を受講していましたが、人に教えるということが出来ず、もどかしい思いをした記憶があります。実際受講すると、応急手当普及員の講習

は予想以上に難しいものでした。特に、医学の基礎的な知識や応急手当の実技を短時間で習得するのは大変でしたが、責任ある任務である以上乗り越えなければならぬと思いき、普段使わない頭をフル回転して勉強しました。

今年三月には、第二方面隊の普通救命講習が行われ、初めて応急手当普及員として参加しました。このときは応急手当普及員になったんだという実感が湧いてきて、嬉しいのと同時に身が引き締まる思いをしました。

また八月七日には、第一方面隊の普通救命講習に参加しました。一般の方も受講する講習会でしたが、先輩普及員の教え方を見て大変勉強になりました。

これからも応急手当普及員として日々研鑽を積み、最新の知識で普及をしていくという使命をもって消防団活動に励みたいと思います。

行われた現場の消火の確認等を入念に行っています。

夜警はいろいろと大変なこともあります。が、晴れた日の巡回で見える富士市の美しい夜景や、家の窓越しから手を振る子供、私生活の会話の中で消防団への感謝の言葉をもらおうと、喜びと同時に頑張らなければという気持ちになります。

地域の景観に変化があるように、世の中の変化が激しい近年、その変化に対応し、地域の防災に役立つような活動をしていきたいです。



# 消防団ラッパ隊

## 「消防団ラッパ隊 ここに在り！」

第24分団 ラッパ隊副隊長 桐生 将勝  
天間東区 在住

皆さんは「消防団ラッパ隊」をご存知ですか？

富士市における消防系の音楽隊は「消防音楽隊」と「消防団ラッパ隊」の二隊があります。

「消防音楽隊」は富士市消防本部内で組織されている消防職員による公設音楽隊。「消防団ラッパ隊」は、富士市消防団の各分団から選抜された団員で構成されている、消防団本部直系の部隊です。

富士市消防団ラッパ隊は、消防団員の規律の維持及び士気高揚を図る事を目的に、昭和六十二年に発足され、現在二十二名の



隊員で活動しています。

ラッパ隊の主な活動は、各種消防関係公式行事、式典でのラッパ吹奏、防火・防災意識の啓発活動、消防団広報活動等を行っています。

さて、硬い話はこれぐらいにして、市民の皆様には新年の「消防出初式」、夏恒例

# 富士市まとい会

## 富士市まとい会長就任

富士市まとい会 会長 野村 和稔  
永田町 在住



平成二十八年度富士市まとい会総会で大沼会長の後任として、第十五代富士市まとい会長に就任しました。富士市消防団第一分団出身の野村和稔です。歴代会長の名誉を損なうことなく、己を律して務めてまいります。

富士市まとい会は、現在百名の会員で構成されています。平均年齢は約七十歳です。年齢的に適した詩がありますので紹介したいと思います。

三国志の登場人物に曹操という武将がいます。彼は知略に富み学才が優れた武将であり、良く詩をたしなみます。「老驥、櫓に伏せども 志は千里にあり 烈士暮年 壯心やまず」「一日、千里も駆け巡る駿馬であるが、歳をとり、今は檻(馬小屋)に伏せているが志は、千里彼方の情勢を窺っている烈士(男らしい男)晩年に成っても、若者のように常にチャレンジする心を持って、世界を見渡している」という詩です。

の「富士まつり音楽パレード」秋に開催する「消防まつり」でファンファーレを演奏したり、ラッパを吹きながら行進する姿がお馴染みではないでしょうか？ また、新たな試みとして、これも近年の年末恒例行事となりました「全日本大学女子選抜富士山女子駅伝大会」にも力走する選手応援と、地元大会を盛り上げる為に、第一回大会から毎回沿道でラッパ吹奏応援をしています。

さて、私達ラッパ隊は、発足当時から長年ラッパ隊を率いてこられた河合元隊長が昨年勇退され、清水新隊長を筆頭に、私も副隊長を命ぜられ、新たな体制で新生ラッパ隊としてスタートしました。

河合元隊長が築いて来られた長年の伝統と格式を継承しつつ、新しい事を取り入れチャレンジしていきます。

その第一歩として、今まで無かった「パーカッション」(打楽器)を新たに取り入れました。具体的には「バスドラム」「スネ



昨今は喧騒と饒舌の世の中です。熊本地方を中心に発生した大地震、豪雨による土砂崩れ、突然の噴火災害、異常気象による地球の悲鳴、そして目を覆うような事件・事故など枚挙に暇ありません。最近の報道では、プレート歪みにより、東海地震や南海トラフ巨大地震がいつ起こってもおかしくない状態と伝えられています。我々まとい会員は、一朝有事の際は当時の経験を活かし、持てる力を発揮し、市民の安全

# 私の職場

## 消防団協力事業所

### に勤務して

第5分団 副分団長 内藤 公明  
株式会社 三和工務店

私が勤めている「株式会社 三和工務店」は、創業昭和二十七年で総合建設業を事業として、主に建築土木の公共工事、ヘーベルハウス工事店、各社工場営繕工事、造成工事など行っています。

アドラム」「シンバル」の三種。ラッパ吹奏にこれら打楽器のリズムが加わり、演奏に厚みを持たせる事が出来ました。きつと演奏を聴いている皆さんには、よりカッコよく、より演奏らしく感じて頂けるのではないのでしょうか。私達はこれからもレベルアップ&チャレンジを重ね「見てよし！吹いてよし！」を目標に、富士市消防団のシンボルの存在として市民の皆様へ愛される隊を目指し、規律正しく、威風堂々、楽しく、そしてカッコよく、活動してまいります。今後も皆様のご声援を宜しくお願い致します！



安心のために邁進していきたいと思えます。結びに、富士市まとい会の活動は、消防団活動の支援をはじめ、消防まつりの蔵出しバザー、消防出初式での甘酒の提供など多彩です。これからは会員一同協力し、活動に励んでいきたいと思えます。



今年五月には、去年入社社員が、消防団協力事業所という事で、「消防団に入りたのですが」と相談があり、第九分団に入団することとなりました。彼にも、仕事と共に消防活動にも長く頑張ってもらいたいです。

私も仕事の事情などで消火活動等、参加出来ないこともありますが、職場や仲間の協力を得て、仕事と共に消防活動にも長く頑張っていきたいです。

# 富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ウェブサイト等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。



## 富士市消防団協力事業所の紹介

### 富士市消防団協力事業所

平成29年2月1日現在

- ① 富士市農業協同組合
- ② 富士トラック(株)
- ③ (株)三和工務店
- ④ 足場屋 勇仁
- ⑤ (有)佐野商事
- ⑥ 佐野晶彦(不動産賃貸業)
- ⑦ 平松建築
- ⑧ 深沢消防(株)
- ⑨ (株)川嶋組
- ⑩ 佐藤畳店
- ⑪ (有)くろがねや
- ⑫ 影山モーターズ
- ⑬ 田中畳工業
- ⑭ 合資会社 堀野紙工
- ⑮ (有)増田製袋
- ⑯ 三角屋(有)
- ⑰ 名花堂
- ⑱ 酒落一
- ⑲ 三晃堂鍼灸治療院
- ⑳ 中島工業所
- ㉑ 潮屋
- ㉒ (株)するが蕎
- ㉓ (株)大善工務店
- ㉔ (有)池田自動車工業
- ㉕ 山本土建
- ㉖ 合資会社 山田運送店
- ㉗ 桑原左官工業
- ㉘ 静岡日野自動車(株) 富士営業所
- ㉙ シンセア環境サービス(株)
- ㉚ (有)大塚技研 第2工場
- ㉛ (有)飯田電設
- ㉜ 竜陽商会
- ㉝ (株)西尾組
- ㉞ (株)タイヤ館富士
- ㉟ (株)佐野総業
- ㊱ 遠藤建設(株)
- ㊲ 渡邊農園
- ㊳ サンコー防災(株)
- ㊴ 税理士法人IBS富士事務所
- ㊵ (株)加々美
- ㊶ (株)司技研
- ㊷ (有)ヤギ総合エクステリア
- ㊸ 税理士法人トップ 富士事務所

※登録順



# FUJI RED FAIRY

## カラーガード隊 隊員募集中

連絡先

富士市消防本部消防総務課  
☎ 0545-55-2851



体を動かすことが大好きな人・興味がある人はぜひお問い合わせください!

## 編集後記

消防団だよりを発行するにあたり団員の皆様、団員御家族様、また関係団体の皆様から多数の原稿や写真を今年もお寄せいただく事が出来ました。  
寄稿していただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

皆様からの寄稿を拝読させていただき、消防団活動に対する皆様の御理解、御協力を改めて感謝を申し上げます。

さて、今年度を振り返ると、熊本地震や糸魚川市大規模火災など大きな災害が国内で発生しております。頻発する災害を通して言えることは、身近にどのような災害も起こり得るということです。

我々消防団は、今後も起こりうる大災害に対応できるようこれからも日々の訓練に励み、今後益々複雑多様化する災害に適切に対処できる知識と技術の習得に努めてまいります。

結びにあたり、この消防団だよりが、団員各位の意識の高揚と団結心が養われることを祈念すると共に、一人でも多くの消防団員を増やすことができるよう、これからも紙面作りに努力してまいりますので御支援、御協力をお願い申し上げます。  
広報紙編集委員長

### 富士市消防団広報紙編集委員会

委員長

団本部 第四方面隊長 千葉 和男

副委員長

団本部 副総務部長 渡辺 美明

委員

第二十五分団 係長 鈴木 信一

第四分団 班長 佐野 晶彦

第八分団 団員 仁藤 貴敏

第十三分団 班長 福島耕一郎

第二十六分団 係長 斉藤 正道

第二十四分団 団員 小松 翔

第三十一分団 係長 神戸 邦明